副反応に対応する医療体制の確保

副反応症状のある方

急性状態（ショック状態）

接種後～4時間程度

接種医療機関・接種医師での初期対応 → 救急病院

電話相談 → 県コールセンター

県コールセンター → 受診勧奨 → 身近な医療機関（かかりつけ医、接種医療機関等）

軽度の副反応（部位の痛みや腫れ等）

接種後～3日以内程度

電話相談・受診 → 身近な医療機関（かかりつけ医、接種医療機関等）

（軽度の副反応が数日間継続して見られ、心配される場合は、身近な医療機関（内科等かかりつけ医、接種医療機関等）に相談するよう周知
［県コールセンター　集団接種会場　等］）

稀な症状（しびれ、筋力低下、感覚鈍化等）

接種後1週間～程度

電話相談・受診 → 身近な医療機関（かかりつけ医、接種医療機関等）

急性散在性脳脊髄炎(ADEM)、多発性硬化症、脳炎・脳症、脊髄炎、けいれん、ギラン・バレ症候群、視神経炎、顔面神経麻痺、末梢神経障害、知覚異常、喘息発作、間質性肺炎、血小板減少性紫斑病、血管炎、肝機能障害、ネフローゼ症候群、皮膚粘膜眼症候群、ぶどう膜炎、関節炎、無菌性髄膜炎、心筋炎 等

医療機関からの電話相談 → 専門的な医療機関